

# 名古屋港管理組合公報

平成16年12月1日  
(水曜日)  
第342号

## 目次

### 規 則

○名古屋港ポートビル条例施行規則の一部を改正する規則……………1

### 告 示

○平成16年度名古屋港管理組合補正予算の要領……………5

○財政状況の公表……………8

○施設運営事業会計及び埋立事業会計の業務の状況の公表……………10

○港湾施設の変更……………17

### 議 会 事 項

○11月定例会名古屋港管理組合議会の結果……………18

## 規 則

○ 名古屋港ポートビル条例施行規則の一部を改正する規則を公布する。

平成十六年十二月一日

名古屋港管理組合管理者

愛知県知事 神田 真秋

### 名古屋港管理組合規則第十二号

名古屋港ポートビル条例施行規則の一部を改正する規則

様式第1号(その1)から様式第11号(その四)までを次のように改める。

#### 様式第2号(その1)(第4条関係)

大人

小・中学生

名古屋港ポートビル
-----------

名古屋港ポートビル
-----------

#### 単 独 券

大人 300円 (1人1回)

①・②・③のうち、1つの施設に入場できます。

- ① 南極観測船ふじ
- ② 海洋博物館(ポートビル3階)
- ③ 展望室(ポートビル7階)

#### 単 独 券

小・中学生 200円 (1人1回)

①・②・③のうち、1つの施設に入場できます。

- ① 南極観測船ふじ
- ② 海洋博物館(ポートビル3階)
- ③ 展望室(ポートビル7階)

備考 用紙の大きさ及び図柄は、別に管理者が定める。

## 様式第2号(その2)(第4条関係)

大人

高校生

小・中学生

名古屋港ポートビル	名古屋港ポートビル	名古屋港ポートビル
単 独 券	単 独 券	単 独 券
大人 260円 (1人1回)	高校生 240円 (1人1回)	小・中学生 160円 (1人1回)
①・②・③のうち、1つの施設に入場できます。 ① 南極観測船ふじ ② 海洋博物館(ポートビル3階) ③ 展望室(ポートビル7階)	①・②・③のうち、1つの施設に入場できます。 ① 南極観測船ふじ ② 海洋博物館(ポートビル3階) ③ 展望室(ポートビル7階)	①・②・③のうち、1つの施設に入場できます。 ① 南極観測船ふじ ② 海洋博物館(ポートビル3階) ③ 展望室(ポートビル7階)

備考

- 1 用紙の大きさ及び図柄は、別に管理者が定める。
- 2 この様式は、20人以上100人未満の団体で入場する場合に用いる。

大人

高校生

小・中学生

名古屋港ポートビル	名古屋港ポートビル	名古屋港ポートビル
単 独 券	単 独 券	単 独 券
大人 250円 (1人1回)	高校生 220円 (1人1回)	小・中学生 150円 (1人1回)
①・②・③のうち、1つの施設に入場できます。 ① 南極観測船ふじ ② 海洋博物館(ポートビル3階) ③ 展望室(ポートビル7階)	①・②・③のうち、1つの施設に入場できます。 ① 南極観測船ふじ ② 海洋博物館(ポートビル3階) ③ 展望室(ポートビル7階)	①・②・③のうち、1つの施設に入場できます。 ① 南極観測船ふじ ② 海洋博物館(ポートビル3階) ③ 展望室(ポートビル7階)

備考

- 1 用紙の大きさ及び図柄は、別に管理者が定める。
- 2 この様式は、100人以上の団体で入場する場合に用いる。

様式第2号 (その3) (第4条関係)

大人

小・中学生

名古屋港ポートビル

名古屋港ポートビル

共通券

共通券

大人 700円 (1人1回)

小・中学生 400円 (1人1回)

それぞれの施設に1回入場できます。

それぞれの施設に1回入場できます。

南極観測船  
ふじ

ポートビル  
3階  
海洋博物館

ポートビル  
7階  
展望室

南極観測船  
ふじ

ポートビル  
3階  
海洋博物館

ポートビル  
7階  
展望室

備考 用紙の大きさ及び図柄は、別に管理者が定める。

様式第2号(その4)(第4条関係)

大人

高校生

小・中学生

名古屋港ポートビル

---

共通券

大人 580円 (1人1回)

それぞれの施設に1回入場できます。

南極観測船 ふじ	ポートビル 3階 海洋博物館	ポートビル 7階 展望室
-------------	----------------------	--------------------

名古屋港ポートビル

---

共通券

高校生 490円 (1人1回)

それぞれの施設に1回入場できます。

南極観測船 ふじ	ポートビル 3階 海洋博物館	ポートビル 7階 展望室
-------------	----------------------	--------------------

名古屋港ポートビル

---

共通券

小・中学生 280円 (1人1回)

それぞれの施設に1回入場できます。

南極観測船 ふじ	ポートビル 3階 海洋博物館	ポートビル 7階 展望室
-------------	----------------------	--------------------

備考

- 1 用紙の大きさ及び図柄は、別に管理者が定める。
- 2 この様式は、20人以上100人未満の団体で入場する場合に用いる。

大人

高校生

小・中学生

名古屋港ポートビル

---

共通券

大人 550円 (1人1回)

それぞれの施設に1回入場できます。

南極観測船 ふじ	ポートビル 3階 海洋博物館	ポートビル 7階 展望室
-------------	----------------------	--------------------

名古屋港ポートビル

---

共通券

高校生 430円 (1人1回)

それぞれの施設に1回入場できます。

南極観測船 ふじ	ポートビル 3階 海洋博物館	ポートビル 7階 展望室
-------------	----------------------	--------------------

名古屋港ポートビル

---

共通券

小・中学生 250円 (1人1回)

それぞれの施設に1回入場できます。

南極観測船 ふじ	ポートビル 3階 海洋博物館	ポートビル 7階 展望室
-------------	----------------------	--------------------

備考

- 1 用紙の大きさ及び図柄は、別に管理者が定める。
- 2 この様式は、100人以上の団体で入場する場合に用いる。

附則

(施行期日)

- 1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則施行の際この規則による改正前の名古屋港ポートビル条例施行規則様式第2号(その一)から様式第2号(その四)までの規定に基づいて作成されている単独券及び共通券についてはこの規則による改正後の名古屋港ポートビル条例施行規則の規定にかかわらず、当分の間、使用

たのりふたじゆん

# 告 示

## 名古屋港管理組合告示第47号

平成16年11月定例名古屋港管理組合議会の議決を経た平成16年度名古屋港管理組合補正予算の要領は、次のとおりである。

平成16年11月16日

名古屋港管理組合管理者  
愛知県知事 神田 真秋

### 平成16年度名古屋港管理組合一般会計補正予算

平成16年度名古屋港管理組合一般会計の補正予算は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ763,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ35,923,000千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

(繰越明許費の補正)

第2条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第213条第1項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第2表 繰越明許費補正」による。

(債務負担行為の補正)

第3条 債務負担行為の補正は、「第3表 債務負担行為補正」による。

### 第1表 歳入歳出予算補正

(△印は、減額を示す。)

#### 歳 入

款	項	補 正 前 の 額	補 正 額	計
2	使用料及び手数料	9,282,502 <sup>千円</sup>	84,801 <sup>千円</sup>	9,367,303 <sup>千円</sup>
	1 使 用 料	9,282,492	84,801	9,367,293
4	財 産 収 入	4,112,718	69,235	4,181,953
	1 財 産 運 用 収 入	4,112,688	69,235	4,181,923
5	寄 附 金	60,000	57,197	117,197
	1 寄 附 金	60,000	57,197	117,197
6	繰 入 金	1,329,020	△ 200,000	1,129,020
	2 他 会 計 借 入 金	1,000,000	△ 200,000	800,000
7	繰 越 金	400,000	751,767	1,151,767
	1 繰 越 金	400,000	751,767	1,151,767
歳 入	合 計	35,160,000	763,000	35,923,000

歳 出		補 正 前 の 額	補 正 額	計
2 総 務 費		4,925,966 <sup>千円</sup>	299,980 <sup>千円</sup>	5,225,946 <sup>千円</sup>
	1 総 務 管 理 費	4,853,316	299,980	5,153,296
5 建 設 費		12,547,249	463,020	13,010,269
	2 整 備 費	10,965,910	463,020	11,428,930
歳 出 合 計		35,160,000	763,000	35,923,000

第2表 繰越明許費補正

款	項	事 業 名	金 額
5 建 設 費	2 整 備 費	金城ふ頭岸壁改良整備費	320,000 <sup>千円</sup>
		飛島ふ頭（南側）用地造成費	150,000
		飛島ふ頭コンテナ関連用地整備費	245,000
計			715,000

第3表 債務負担行為補正

事 項	補 正 前		補 正 後	
	期 間	限 度 額	期 間	限 度 額
名古屋港開港百年史編纂業務委託費	—	— <sup>千円</sup>	平成17年度～ 平成19年度	29,500 <sup>千円</sup>
飛島ふ頭（南側）埋立事業調査費	—	—	平成17年度	14,000
堀川口防潮水門ポンプ所整備費	—	—	平成17年度	260,000
計		28,000		331,500

## 平成16年度名古屋港管理組合基金特別会計補正予算

平成16年度名古屋港管理組合基金特別会計の補正予算は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ535,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ864,400千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

第1表 歳入歳出予算補正  
歳 入

款	項	補正前の額	補正額	計
1 水族館振興基金収入		295,230 <sup>千円</sup>	275,980 <sup>千円</sup>	571,210 <sup>千円</sup>
	2 寄 附 金	10	18,990	19,000
	3 繰 入 金	10	256,990	257,000
2 海事文化振興基金収入		34,050	42,990	77,040
	3 繰 入 金	10	42,990	43,000
3 環境振興基金収入		120	216,030	216,150
	2 寄 附 金	20	216,030	216,050
歳 入	合 計	329,400	535,000	864,400

## 歳 出

款	項	補正前の額	補正額	計
1 水族館振興基金		295,230 <sup>千円</sup>	275,980 <sup>千円</sup>	571,210 <sup>千円</sup>
	1 積 立 金	230	275,980	276,210
2 海事文化振興基金		34,050	42,990	77,040
	1 積 立 金	50	42,990	43,040
3 環境振興基金		120	216,030	216,150
	1 積 立 金	110	216,030	216,140
歳 出	合 計	329,400	535,000	864,400

## 平成16年度名古屋港管理組合理立事業会計補正予算

(総 則)

第1条 平成16年度名古屋港管理組合理立事業会計の補正予算は、次に定めるところによる。

(収益的収入及び支出)

第2条 平成16年度名古屋港管理組合理立事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

(△印は、減額を示す。)

(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
	収	入	
第1款 埋立事業収益	214,000千円	△ 1,990千円	212,010千円
第1項 営業外収益	213,970千円	△ 1,990千円	211,980千円
	支	出	
第1款 埋立事業費用	398,000千円	18,990千円	416,990千円
第2項 営業外費用	10,369千円	18,990千円	29,359千円

(資本的収入及び支出)

第3条 予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正し、同条中かっこ書を削る。

(△印は、減額を示す。)

(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
	収	入	
第1款 資本的収入	1,309,000千円	2,484,000千円	3,793,000千円
第2項 埋立事業収入	61,027千円	2,484,000千円	2,545,027千円
	支	出	
第1款 資本的支出	3,416,000千円	△ 200,000千円	3,216,000千円
第6項 他会計貸付金	1,000,000千円	△ 200,000千円	800,000千円

## (重要な資産の取得及び処分)

第4条 重要な資産の処分は、次のとおりとする。

処分する資産	種類 土地	名称 西部地区内	数量 54,000 平方メートル	処分の態様 譲渡
--------	----------	-------------	---------------------	-------------

## 名古屋港管理組合告示第48号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び名古屋港管理組合財政状況の公表に関する条例（平成13年名古屋港管理組合条例第5号）の規定に基づき、平成16年4月1日から平成16年9月30日までの期間における名古屋港管理組合の財政状況を次のように公表する。

平成16年12月1日

名古屋港管理組合管理者  
愛知県知事 神田 真秋

## 名古屋港管理組合の財政の状況

## 1 平成16年度予算の執行状況（平成16年9月30日現在）

## (1) 一般会計

## 歳入

歳入区分	予算現額	収入済額	備考
分担金及び負担金	8,435,560,000 <sup>円</sup>	2,181,916,000 <sup>円</sup>	
使用料及び手数料	9,282,502,000	4,946,212,237	
国庫支出金	4,440,098,000	532,100,000	
財産収入	4,112,718,000	2,205,730,958	
寄附金	60,000,000	117,197,144	
繰入金	1,329,020,000	43,999,998	
繰越金	649,151,000	1,400,918,344	
諸収入	1,687,057,000	720,643,824	
組合債	12,454,130,000	293,000,000	
歳入合計	42,450,236,000	12,441,718,505	

## 歳出

歳出区分	予算現額	支払済額	備考
議会費	166,400,000 <sup>円</sup>	76,364,151 <sup>円</sup>	
総務費	4,925,966,000	999,023,046	
企画調整費	784,618,000	355,436,661	
港営費	5,381,767,000	2,562,935,312	
建設費	19,837,485,000	5,135,658,762	
公債費	11,324,000,000	5,508,549,853	
予備費	30,000,000	0	
歳出合計	42,450,236,000	14,637,967,785	

※予算現額には、前年度からの繰越額を含む。



## (2) 特別会計

## 歳入

歳入区分	予算現額	収入済額	備考
水族館振興基金収入	295,230,000 <sup>円</sup>	29,059,048 <sup>円</sup>	
海事文化振興基金収入	34,050,000	34,002,453	
環境振興基金収入	120,000	89,589	
歳入合計	329,400,000	63,151,090	

## 歳出

歳出区分	予算現額	支払済額	備考
水族館振興基金	295,230,000 <sup>円</sup>	10,059,048 <sup>円</sup>	
海事文化振興基金	34,050,000	34,002,453	
環境振興基金	120,000	57,589	
歳出合計	329,400,000	44,119,090	

## 2 財産の状況 (平成16年9月30日現在)

区分	現在高
公有財産	
土地	9,510,102.75m <sup>2</sup>
建物	149,858.51m <sup>2</sup>
山林	—
動産	船舶2隻等
物権	154.86m <sup>2</sup>
無体財産権	—
有価証券	2,903,200,000円
出資による権利	175,500,000円
不動産の信託の受益権	—
物品	429件
債権	12,697,528,475円
基金	688,343,805円

## 3 組合債等の現在高（平成16年9月30日現在）

区 分	現 在 高
公 共 事 業 債	68,755,202,307 <sup>円</sup>
港 湾 整 備 事 業 債	32,109,339,203
単 独 事 業 債	18,058,677,000
転 貸 債	9,299,691,475
施設運営事業会計借入金	2,085,000,000
埋立事業会計借入金	1,200,000,000
計	131,507,909,985

## 4 一時借入金の現在高（平成16年9月30日現在）

区 分	借入限度額	現 在 高
一 般 会 計	4,000,000,000 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>

## 名古屋港管理組合告示第49号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2及び名古屋港管理組合港湾整備事業の設置等に関する条例（昭和41年名古屋港管理組合条例第12号）第7条の規定に基づき、施設運営事業及び埋立事業の平成16年4月1日から平成16年9月30日までの期間における業務の状況を次のとおり公表する。

平成16年12月1日

名古屋港管理組合管理者  
愛知県知事 神田 真秋

## 名古屋港管理組合施設運営事業会計の業務の状況

## 1 事業の概況

## (1) 経營業務

この期間中における各事業の収益額及び提供施設量は、次のとおりである。

区 分	収 益 額	提 供 施 設 量
上 屋 運 営 事 業	533,064,745 <sup>円</sup>	一般使用 23 棟 ( 91,093m <sup>2</sup> ) 専用使用 20 棟 ( 40,677m <sup>2</sup> )
貯 木 場 運 営 事 業	249,244,929	一般使用 1 か所 ( 455,450m <sup>2</sup> ) 専用使用 7 か所 ( 995,430m <sup>2</sup> )
荷 役 機 械 運 営 事 業	797,676,812	13 基
ひ き 船 運 営 事 業	469,618,272	6 隻

(注) 提供施設量は、平成16年9月30日現在の数量であり、面積は、有効面積である。

## (2) 建設改良事業

## ア 上屋整備事業

金城ふ頭7号上屋屋根改修工事を施工した。

## イ 貯木場整備事業

西部第2貯木場東側不法投棄対策整備工事を施工中である。

## ウ 荷役機械整備事業

飛島ふ頭南3号起重機電気設備改修工事を施工予定である。

## エ ひき船整備事業

金城ふ頭ひき船基地電気設備改修工事を施工中である。

## 2 経理の状況

平成16年9月30日現在の合計残高試算表は、次のとおりである。

## 施設運営事業会計合計残高試算表

平成16年9月30日現在

借 方			勘 定 科 目	貸 方		
残 高	合 計	当 期		当 期	合 計	残 高
円	円	円		円	円	円
20,576,096,177	35,505,197,485	3,322,000	固 定 資 産		14,929,101,308	
18,170,136,840	33,099,238,148	3,322,000	有形固定資産		14,929,101,308	
220,959,337	220,959,337		無形固定資産			
2,185,000,000	2,185,000,000		投 資			
1,575,483,159	7,098,858,049	5,507,407,823	流 動 資 産	5,523,374,890	5,523,374,890	
1,127,758,516	3,659,700,590	2,589,832,816	現金・預金	2,531,942,074	2,531,942,074	
384,266,616	2,974,099,432	2,500,785,407	未 収 金	2,589,832,816	2,589,832,816	
15,118,427	15,118,427		貯 蔵 品			
	400,000,000	400,000,000	短 期 貸 付 金	400,000,000	400,000,000	
48,339,600	49,939,600	16,789,600	その他流動資産	1,600,000	1,600,000	
	2,552,489,594	2,552,489,594	流 動 負 債	2,321,196,728	2,590,314,293	37,824,699
	2,531,942,074	2,531,942,074	未 払 金	2,301,500,979	2,534,384,233	2,442,159
	20,547,520	20,547,520	その他流動負債	19,695,749	55,930,060	35,382,540
	712,533,612	712,533,612	資 本 金		16,197,526,332	15,484,992,720
			自己資本金		6,613,983,515	6,613,983,515
	712,533,612	712,533,612	借入資本金		9,583,542,817	8,871,009,205
	104,584,743		剰 余 金		5,802,165,249	5,697,580,506
			資本剰余金		5,802,165,249	5,802,165,249
104,584,743	104,584,743		欠 損 金			
			施設運営事業収益	2,082,689,658	2,082,689,658	2,082,689,658
			営業収益	2,082,581,045	2,082,581,045	2,082,581,045
			営業外収益	108,613	108,613	108,613
1,151,508,247	1,151,508,247	1,151,508,247	施設運営事業費用			
970,600,394	970,600,394	970,600,394	営業費用			
180,907,853	180,907,853	180,907,853	営業外費用			
23,303,087,583	47,125,171,730	9,927,261,276	合 計	9,927,261,276	47,125,171,730	23,303,087,583

## 3 平成15年度施設運営事業会計の決算の状況

## (1) 総括事項

平成15年度における本事業の経営状況は、約1億53百万円の利益を計上した。

提供施設量は、上屋43棟（一般使用23棟・有効面積91,093㎡、専用使用20棟・同40,677㎡）、貯木場8か所（水面貯木場6か所・有効面積1,267,699㎡、陸上貯木場1か所・同111,183㎡、製材品置場1か所6棟・同71,998㎡）、荷役機械13基とひき船6隻である。

また、建設改良事業は総額115,714,000円で、主な整備状況としては、金城ふ頭C号上屋屋根改修工事、飛島ふ頭変電所中央監視装置改修工事を施工した。

## (2) 収益的収入及び支出

## ア 収入

区 分	予 算 額	執 行 済 額	予算額に比べ執行済額の増(△)減	備 考
	円	円	円	うち、仮受消費税及び地方消費税
第1款 施設運営事業収益	4,102,000,000	4,135,982,941	33,982,941	147,820,445円
第1項 営業収益	4,097,485,000	4,130,145,495	32,660,495	147,801,091円
第2項 営業外収益	4,495,000	5,837,446	1,342,446	19,354円
第3項 特別利益	20,000	0	△ 20,000	

## イ 支出

区 分	予 算 額	執 行 済 額	不 用 額	備 考
	円	円	円	うち、仮払消費税及び地方消費税
第1款 施設運営事業費用	4,095,000,000	3,977,241,265	117,758,735	81,511,295円
第1項 営業費用	3,615,617,000	3,508,140,574	107,476,426	81,511,295円
第2項 営業外費用	469,363,000	469,100,691	262,309	
第3項 特別損失	20,000	0	20,000	
第4項 予備費	10,000,000	0	10,000,000	

## ウ 損益計算書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
施設運営事業費用	3,834,969,870	施設運営事業収益	3,988,162,496
営業費用	3,426,629,279	営業収益	3,982,344,404
営業外費用	408,340,591	営業外収益	5,818,092
当年度純利益	153,192,626		
計	3,988,162,496	計	3,988,162,496

## (3) 資本的収入及び支出

## ア 収 入

区 分	予 算 額	執 行 済 額	予算額に比べ執行済額の増(△)減	備 考
	円	円	円	うち、仮受消費税及び地方消費税
第1款 資本的収入	300,030,000	495,173,560	195,143,560	8,265円
第1項 固定資産売却代金	10,000	173,560	163,560	8,265円
第2項 寄附金	10,000	0	△ 10,000	
第3項 貸付金返還金	300,000,000	495,000,000	195,000,000	
第4項 その他資本的収入	10,000	0	△ 10,000	

## イ 支 出

区 分	予 算 額	執 行 済 額	不 用 額	備 考
	円	円	円	うち、仮払消費税及び地方消費税
第1款 資本的支出	1,535,600,000	1,495,284,319	40,315,681	5,557,190円
第1項 建設改良費	155,500,000	115,714,000	39,786,000	5,510,190円
第2項 固定資産購入費	1,556,000	1,027,980	528,020	47,000円
第3項 企業債償還金	1,378,544,000	1,378,542,339	1,661	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,000,110,759円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,548,925円及び過年度分損益勘定留保資金994,561,834円で補てんした。

## ウ 貸借対照表

(平成16年3月31日)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
固 定 資 産	20,572,774,177	流 動 負 債	269,117,565
有形固定資産	18,166,814,840	未払金	232,883,254
無形固定資産	220,959,337	その他流動負債	36,234,311
投 資	2,185,000,000	資 本 金	16,197,526,332
流 動 資 産	1,591,450,226	自己資本金	6,613,983,515
現金・預金	1,069,867,774	借入資本金	9,583,542,817
未収金	473,314,025	剰 余 金	5,697,580,506
貯蔵品	15,118,427	資本剰余金	5,802,165,249
その他流動資産	33,150,000	欠損金	104,584,743
資 産 合 計	22,164,224,403	負 債 資 本 合 計	22,164,224,403

## 名古屋港管理組合理立事業会計の業務の状況

## 1 事業の概況

## 土地造成事業

本年度の主な業務は、埋立土量469,000m<sup>3</sup>を予定し、現在鋭意施工中である。

## 2 経理の状況

平成16年9月30日現在の合計残高試算表は、次のとおりである。

## 埋立事業会計合計残高試算表

平成16年9月30日現在

借 方			勘 定 科 目	貸 方		
残 高	合 計	当 期		当 期	合 計	残 高
円	円	円		円	円	円
1,300,591,077	1,305,735,636	113,050	固 定 資 産	119,000	5,144,559	
591,077	5,735,636	113,050	有形固定資産	119,000	5,144,559	
1,300,000,000	1,300,000,000		投 資			
71,910,493,355	106,443,006,283	524,585,563	土 地 造 成	347,511,156	34,532,512,928	
786,679,778	786,679,778		完 成 土 地			
71,123,813,577	105,656,326,505	524,585,563	未 成 土 地	347,511,156	34,532,512,928	
4,365,611,090	11,748,482,468	6,518,737,527	流 動 資 産	7,382,871,378	7,382,871,378	
3,996,946,306	7,052,192,385	2,727,601,299	現 金 ・ 預 金	3,055,246,079	3,055,246,079	
225,091,484	2,952,692,783	2,128,420,928	未 収 金	2,727,601,299	2,727,601,299	
48,000	72,000		貯 蔵 品	24,000	24,000	
	1,600,000,000	1,600,000,000	短 期 貸 付 金	1,600,000,000	1,600,000,000	
139,442,000	139,442,000	58,632,000	前 払 金			
4,083,300	4,083,300	4,083,300	そ の 他 流 動 資 産			
			固 定 負 債	36,352,602	35,283,167,351	35,283,167,351
			前 受 金	36,352,602	35,264,458,351	35,264,458,351
			そ の 他 固 定 負 債		18,709,000	18,709,000
	3,069,492,840	3,069,492,840	流 動 負 債	2,939,597,543	3,194,258,779	124,765,939
	3,055,246,079	3,055,246,079	未 払 金	2,878,891,536	3,109,102,609	53,856,530
	14,246,761	14,246,761	そ の 他 流 動 負 債	60,706,007	85,156,170	70,909,409
	519,288,000	519,288,000	資 本 金		41,716,037,190	41,196,749,190
			自 己 資 本 金		31,933,437,190	31,933,437,190
	519,288,000	519,288,000	借 入 資 本 金		9,782,600,000	9,263,312,000
	382,126,424	191,063,212	剩 余 金	191,063,212	1,428,374,165	1,046,247,741
			資 本 剩 余 金		3,108,894	3,108,894
	191,063,212	191,063,212	利 益 剩 余 金		1,234,202,059	1,043,138,847
	191,063,212		欠 損 金	191,063,212	191,063,212	
			埋 立 事 業 収 益	83,892,663	83,892,663	83,892,663
			営 業 外 収 益	83,892,663	83,892,663	83,892,663
158,127,362	158,127,362	158,127,362	埋 立 事 業 費 用			
147,789,162	147,789,162	147,789,162	営 業 費 用			
10,338,200	10,338,200	10,338,200	営 業 外 費 用			
77,734,822,884	123,626,259,013	10,981,407,554	合 計	10,981,407,554	123,626,259,013	77,734,822,884

## 3 平成15年度埋立事業会計の決算の状況

## (1) 総括事項

本年度の建設改良工事は、主に南部地区では道路の整備を、西部地区においては護岸、道路及び用地等の整備を、また、南5区においては基礎調査を行った。

また、経営状況は、約1億9千万円の損失を計上した。

## ア 造成事業

主な事業は、南部地区においては、集水桝補修工事を行った。

西部地区においては、西部第1貯木場の護岸整備工事、西部第2貯木場の埋立整備工事を行った。

南5区においては、第2期埋立計画に関連した基礎調査を行った。

## イ 土地売却状況

本年度は、南部地区天白埋立地6,595.25㎡を岡山県貨物運送㈱に売却した。

この結果、本年度末における南部及び西部地区の売却状況は、売却予定面積24,235,894.80㎡に対して97.70%となった。

## (2) 収益的収入及び支出

## ア 収入

区 分	予 算 額	執 行 済 額	予算額に比べ執行済額の増(△)減	備 考
	円	円	円	うち、仮受消費税及び地方消費税
第1款 埋立事業収益	205,000,000	216,481,340	11,481,340	2,692,689円
第1項 営業外収益	204,970,000	216,481,340	11,511,340	2,692,689円
第2項 特別利益	30,000	0	△ 30,000	

## イ 支出

区 分	予 算 額	執 行 済 額	不 用 額	備 考
	円	円	円	うち、仮払消費税及び地方消費税
第1款 埋立事業費用	463,000,000	424,885,067	38,114,933	3,699,391円
第1項 営業費用	428,038,000	399,639,767	28,398,233	3,699,391円
第2項 営業外費用	25,266,000	25,245,300	20,700	
第3項 特別損失	30,000	0	30,000	
第4項 予備費	9,666,000	0	9,666,000	

## ウ 損益計算書

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
埋立事業費用	404,851,976	埋立事業収益	213,788,764
営業費用	395,940,376	営業外収益	213,788,764
営業外費用	8,911,600	当年度純損失	191,063,212
計	404,851,976	計	404,851,976

## (3) 資本的収入及び支出

## ア 収 入

区 分	予 算 額	執 行 済 額	予算額に比べ執行済額の増(△)減	備 考
	円	円	円	うち、仮受消費税及び地方消費税
第1款 資本的収入	2,064,667,000	2,074,770,147	10,103,147	29,245,511円
第1項 企業債	700,000,000	700,000,000	0	
第2項 埋立事業収入	580,486,000	574,551,078	△ 5,934,922	
第3項 雑収入	784,181,000	800,219,069	16,038,069	29,245,511円

## イ 支 出

区 分	予 算 額	執 行 済 額	不 用 額	備 考
	円	円	円	うち、仮払消費税及び地方消費税
第1款 資本的支出	3,318,000,000	3,225,450,018	92,549,982	11,904,996円
第1項 南部地区埋立事業費	33,200,000	23,735,024	9,464,976	148,902円
第2項 西部地区埋立事業費	697,900,000	683,278,060	14,621,940	10,256,582円
第3項 南5区埋立事業費	110,600,000	83,433,195	27,166,805	446,594円
第4項 総係費	222,173,000	215,373,761	6,799,239	1,052,918円
第5項 企業債費	1,037,308,000	1,012,811,878	24,496,122	
第6項 他会計貸付金	1,200,000,000	1,200,000,000	0	
第7項 雑支出	6,819,000	6,818,100	900	
第8項 予備費	10,000,000	0	10,000,000	

資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,150,679,871円は、繰越工事資金1,150,679,871円で補てんした。



ウ 貸借対照表  
(平成16年3月31日)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
固 定 資 産	1,300,597,027	固 定 負 債	35,246,814,749
有形固定資産	597,027	前 受 金	35,228,105,749
投 資	1,300,000,000	その他固定負債	18,709,000
土 地 造 成	71,733,418,948	流 動 負 債	254,661,236
完 成 土 地	786,679,778	未 払 金	230,211,073
未 成 土 地	70,946,739,170	その他流動負債	24,450,163
流 動 資 産	5,229,744,941	資 本 金	41,716,037,190
現 金・預 金	4,324,591,086	自 己 資 本 金	31,933,437,190
未 収 金	824,271,855	借 入 資 本 金	9,782,600,000
貯 蔵 品	72,000	剰 余 金	1,046,247,741
前 払 金	80,810,000	資 本 剰 余 金	3,108,894
		利 益 剰 余 金	1,234,202,059
		欠 損 金	191,063,212
資 産 合 計	78,263,760,916	負 債 資 本 合 計	78,263,760,916

名古屋港管理組合告示第50号

次の港湾施設は、平成16年11月15日から次のとおり変更した。

平成16年12月1日

名古屋港管理組合管理者

愛知県知事 神田 真秋

施設の種類 荷さばき地

変更前

用途区分及び区画を定めた荷さばき地

名 称 (括弧内は、その略称)	等級	用途区分	位 置	面 積	区 画
飛島ふ頭北F荷さばき地 (飛島北F)	特 <sup>級</sup>	コンテナ貨物	91号岸壁及び 92号岸壁背後	平方メートル 18,312	図による

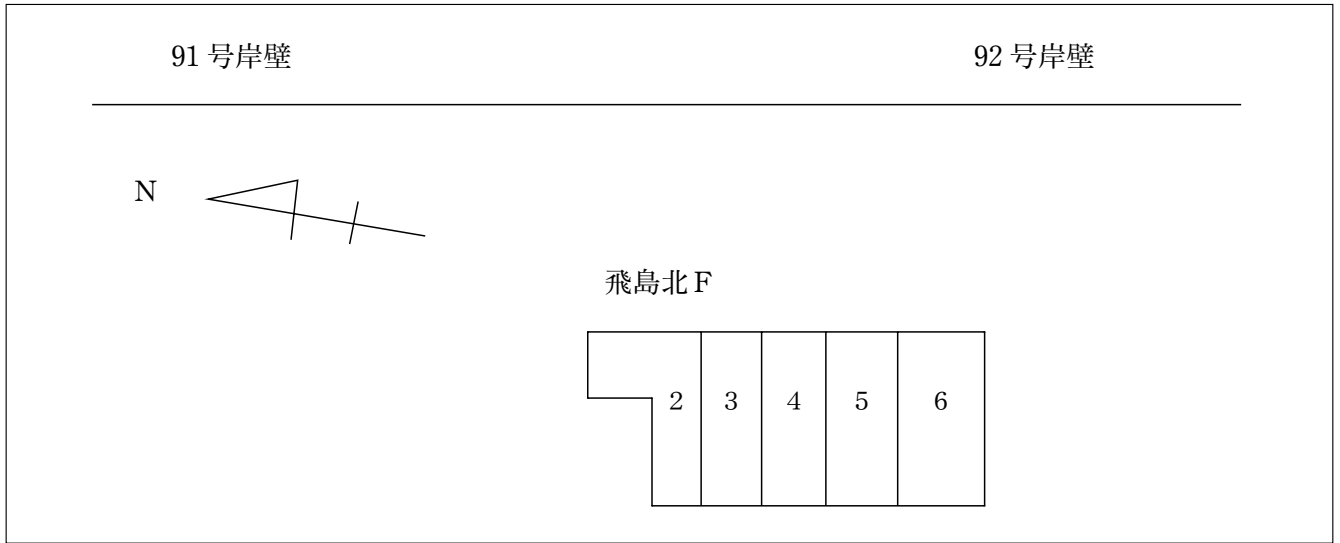
(図は省略)

変更後

用途区分及び区画を定めた荷さばき地

名 称 (括弧内は、その略称)	等級	用途区分	位 置	面 積	区 画
飛島ふ頭北F荷さばき地 (飛島北F)	特 <sup>級</sup>	コンテナ貨物	91号岸壁及び 92号岸壁背後	平方メートル 19,095	図による

図 (飛島ふ頭北F荷さばき地)



備考

- 1 数字は、区画の名称を示す。
- 2 飛島北Fの区画の面積は、2は3,621平方メートル、3・4は各3,095（細分単位は30）平方メートル、5は3,516平方メートル、6は5,768平方メートルである。

## 議 会 事 項

11月16日招集された定例名古屋港管理組合議会は、会期を1日と決定し、同日議事終了閉会した。  
付議事件等及びその結果は、下記のとおりである。

記

1 可児茂久議員が名古屋港管理組合議会議員を辞職したことにより、横井五六議員が企画総務委員から港管建設委員に所属を変更すると共に、同委員会の副委員長に互選された。

2 企画総務委員会及び名古屋港水族館特別委員会の委員の選任

大 見 正

3 一般会計・特別会計決算特別委員会の設置

可 決

4 一般会計・特別会計決算特別委員会委員の選任

橋 本 静 友  
山 下 史守朗  
住 田 宗 男  
大 見 正  
山 口 清 明  
三 浦 孝 司  
おくむら 文 洋  
小 島 七 郎  
岩 村 進 次  
堀 場 章  
浅 井 日出雄  
波 形 昌 洋  
荒 川 直 之  
立 松 誠 信

5 公営企業会計決算特別委員会の設置

可 決

6 公営企業会計決算特別委員会委員の選任

横 井 五 六  
渡 辺 ひでと  
小 島 丈 幸  
杉 浦 孝 成  
村 松 ひとし  
杉 岡 和 明  
ひざわ 孝 彦  
保手浜 清 登  
加 藤 実  
村 瀬 たつじ

渡 辺 義 郎  
日 高 昇  
坂 崎 巳代治  
諸 限 修身  
久 野 浩 平

また、各決算特別委員会の委員長及び副委員長は、各委員会において互選の結果、次のとおり決定された。

一般会計・特別会計決算特別委員会

委員長 三 浦 孝 司

副委員長 小 島 七 郎

公営企業会計決算特別委員会

委員長 諸 限 修身

副委員長 横 井 五 六

- 7 平成16年度名古屋港管理組合一般会計補正予算  
原案可決
- 8 平成16年度名古屋港管理組合基金特別会計補正予算  
原案可決
- 9 平成16年度名古屋港管理組合理立事業会計補正予算  
原案可決
- 10 名古屋港臨港地区内の分区における構築物の規制に関する条例の一部改正について  
原案可決
- 11 工事請負契約の締結について（港湾施設保安対策設備工事（その1））  
原案可決
- 12 平成15年度名古屋港管理組合一般会計歳入歳出決算  
閉会中継続審査
- 13 平成15年度名古屋港管理組合基金特別会計歳入歳出決算  
閉会中継続審査
- 14 平成15年度名古屋港管理組合施設運営事業会計決算  
閉会中継続審査
- 15 平成15年度名古屋港管理組合理立事業会計決算  
閉会中継続審査
- 16 各常任委員会における閉会中の継続調査について  
可 決